

記録表 発行日	年 月 日	検 印
注 番	U -	

アスファルトフィニッシャー CJ受入31項目検品表


中京重機株式会社
 ☎ 465-0057 愛知県名古屋市長区陸前町1705
 サービス部 フィールドサービスグループ
 TEL : 052-701-5191 / Fax : 052-701-5193

メーカー名	住友	型 式	HA60W-7	機 械 所 有 者	様			
製造(シリアル)番号	SWTA60WRT00000166	アワメーター	5569Hr	検 査 年 月 日	2019年9月30日(月)			
エンジン型式	4JJ1XD1AA-02	検 査 者 名	筑摩	検査実施場所	(本社内) 日進ヤード ()			
エンジンシリアル		特 自 検	特自検ステッカー 有・(無) / 点検日 年 月 / 点検者					
区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	評 価	備 考		
エ ン ジ ン	1	本体	a. 始動/停止性	かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動、ソレノイド	目視 or 操作 or 聴診	A B (C) D E		
			b. 回転の状態	アクセルの作動、回転具合		A B (C) D E		
			c. 排気の状態	排気色、排気音、吹き返し、マフラー外観の欠陥によるガス漏れなど		A B (C) D E		
			d. ブローバイガス	漏れ具合、漏出量		A B (C) D E		
			e. エアークリーナー	ケースの亀裂、変形、エレメントの汚れ、損傷		A B (C) D E		
			f. 過給機(ターボ)	異常振動、ガス漏れ、潤滑油漏れ		A B (C) D E		
			g. エンジン圧縮	エンジン内部コンプレッション圧計測		測定器を使用して 測定	A B C D E	Mpa
			h. 背圧	ブローバイ量の計測		測定器を使用して 計測	A B (C) D E	1.0L/min
	2	潤滑装置	油量、汚れ、白濁、油漏れ、エレメントの汚れ(滲み)、損傷	目 視	A (B) C D E	ゲージ		
	3	燃料装置	燃料滲み漏れ、詰まり	目視 or 触診	A B (C) D E			
4	燃料タンク	ドレンコックから水抜き実行、タンク内汚れ推測	目 視	A B (C) D E				
5	燃料油種	(軽油) ・ 灯油 ・ A重油 ・ 茶灯油	目視 or 嗅診	A B (C) D E				
6	冷却装置	a. クーラント	水量、濃度、汚れ(サブタンク水量: 満・中・少・無)	目視 or 触診	A B C D E	クーラント濃度 -35℃		
		b. 水漏れ	ウォーターホース、ドレンバルブ、キャップ機能チェック		A B (C) D E			
		c. ラジエータ	外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、水漏れ		A B (C) D E			
		d. オイルクーラー	外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、オイル漏れ		A B (C) D E			
		e. ベルト/ウォーターポンプ	たわみ、摩耗、損傷、ガタの有無と程度		A B (C) D E			
		f. 水温計	正常(適温)表示		(良) 不良			
		g. その他	ファンカバーやダクトの亀裂有無・損傷及び変形など		A B (C) D E			
7	電気装置	オルタネータ機能、バッテリー液量、ターミナル緩み、腐食 搭載バッテリー型式 ⇒ [130R]	目視 or 触診 or 電圧計 目 視	A B C D E	電圧 約28V(ホルト)			
走 行 装 置	8	走行コントロール	前後発進停止、左右操舵	操 作	A B (C) D E			
	9	起動輪 ・ 遊動輪	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ、油漏れ	目視 or 触診 or 聴診 or 探傷剤	A B C D E			
	10	上部ローラー ・ 下部ローラー	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ	目視 or 触診	A B C D E			
	11	タイヤ/履帯	(タイヤ) PAD 欠け、摩耗、亀裂傷、損傷、他	目視 or 触診	A B (C) D E			
	12	走行減速機	油量、異音、異常発熱、ケースクラック、損傷、油漏れ※減速機の油量チェックは必須の事	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E			
作 業 装 置	13	スクリード	伸縮作動状況など	目視 & 操作	A B (C) D E	シリンダーオイル漏れ		
	14	スクリュウ	正転反転作動状況、スピードコントロール状況	目視 & 操作	A B (C) D E	緩み		
	15	パーナー	圧カメータの作動状況、点火状況など	目視 & 操作	A B C D E	ガス無し		
	16	アイロン	アイロン面の(深)傷有無	目 視	A B (C) D E			
	17	パイプブレーター/タンパー	作動状況、油漏れの状態など	操 作	A B (C) D E			
	18	各種センサー	作動状況など	目視 & 操作	A (B) C D E			
	19	ホッパチェーン	弛み、摩耗、スプロケットの状態など	目視 & 操作	A B (C) D E			
	20	フィーダー	フィーダーバーの摩耗、フィーダー底板の摩耗有無	目視 or 操作	A B (C) D E			
油 圧 装 置	21	作動油タンク	残油量 (適量) ・ 中 ・ 少 ・ 無)、ゲージの汚れ	目 視	A B (C) D E			
	22	配管類(高・低圧油圧ホース・パイプ)	クラック/亀裂、劣化、損傷、ひび割れ、油漏れ、フケット/ホルト		A B (C) D E			
	23	油圧メインポンプ/コントロールバルブ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、吐出異常	目視 or 聴診 or 触診	A B (C) D E			
	24	油圧シリンダー	スクリード昇降シリンダ部	自然沈下、油漏れ(滲み)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B (C) D E		
			スクリード伸縮シリンダ部	自然沈下、油漏れ(滲み)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B (C) D E		
			ホッパー開閉シリンダ部	自然沈下、油漏れ(滲み)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E		
ステアリングシリンダ部			自然沈下、油漏れ(滲み)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E			
()シリンダ部	自然沈下、油漏れ(滲み)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E					

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	評価	備考
安全装置・車体関係等	25	座席(調整機構、座面、背もたれ)	座席調整、ロック作動、取付ガタ、損傷、穴あき	目視 or 操作	A B C <input checked="" type="radio"/> D E	
	26	灯火装置、警報器、方向指示器、ワイパー	作動状態、取付ガタ、レンズ破損、浸水	目視 or 操作	A B <input checked="" type="radio"/> C D E	
	27	計器類	作動状態、取付ガタ、レンズ破損	目視 or 操作	A B C D E	
	28	セキュリティ [有 ・ 無]	イモビライザー、電子Key、隠しスイッチ、パスワードなど	操作	有 <input checked="" type="radio"/> 無	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	29	反射鏡、後写鏡	汚れ、損傷、破損	目視	A B <input checked="" type="radio"/> C D E	
	30	給油脂	給油脂状態、自動給脂装置作動	目視 or 操作	A B C D E	
	31	レバー、ペダル	効き、操作、変形、損傷、はずれ	目視 or 操作	A B C <input checked="" type="radio"/> D E	
実機械状態から具体的な検査結果報告(特記事項がなければ未記入で可)を記載の事						
No.1						
No.2						
No.3						
No.4						
No.5						
No.6						
No.7						
No.8						
No.9						
No.10						
No.11						
No.12						
No.13	シリンダーオイル漏れ×2、動作左右で不揃い、スクリュウ駆動チェーンオイル水混入					
No.14						
No.15	良好					
No.16	摩耗 残り 平均6mm					
No.17						
No.18						
No.19	ホッパーシリンダー降下大、ホッパーロック不動					
No.20						
No.21	ゲージひび					
No.22						
No.23						
No.24	オイル漏れ×2					
No.25	破れ					
No.26						
No.27						
No.28						
No.29						
No.30						
No.31	ブレーキペダル重い					
備考	1. 検査方法欄に実施した内容を○で囲み、5段階評価の中で該当する程度・状態を○で囲む。 2. 検査結果に異常があった場合には、右頁の該当番号欄へ具体的な不具合結果を記入の事。					
概要評価基準			個別評価基準(残存率による評価の場合は%を参照)			
A: 新品に近く非常に良好な状態の場合			A: 新品に近く非常に良好な状態の場合 / 100~90%			
B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合			B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合 / 90~70%			
C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合			C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合 / 70~40%			
D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合			D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合 / 40~20%			
E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合			E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合 / 20~0%			